

昭和二十年十二月二日

[可認物便郵種三第三]

雪の會津と中通りへ

蓮沼本社物々交換實現

深刻な石炭機械にストップが発生すこの寒空にすつかり頭に上つた雪の中通り及び會津方面の學校では之が爲校の已むなきに至らでないかを要ひ、縣議連名本社長があぐる通常縣会で當面の窮状救済策として農産品との物々交換による燃料輸送を提倡した結果縣から商工省の認可を求める年末貨車不足の折柄ながらこそ教育の重大問題として多大な犠牲を拂ひ縣下小學校所要約九百頭中先づ入山から第一回分として去る、五日以降一昨十四日までに左記各小學校に約五百トンを發送し休校一步前で可憐な學童を寒冷地獄から救ひ出しこうが出来た。

更に第二、第三回の發送準備中、單價も商工省の認可により統制價格で山元から直送の關係でトソ當り十圓の格安で品質も上々である。尙ほ交換の米と木炭はこれまた縣會の斡旋で近く入山に入る筈でこの有無相通の企ては時局柄機宜の妙案として各方面から好評を得てゐる。(カウコ内線敷)

△西白河郡一四段(八)△東白河郡二二一△石川郡三(二)△大沼郡六(三)△北會津郡四(二)△耶麻郡一六(一一)△河沼郡一五(七)△福島全校(一)△若松同(二)

市宅地價奔騰

大臣賞授與

廿九日マルトモで

滿洲現地開拓記念報告

福島縣代表

金成壽像除幕式

前貴昌院議員金成通氏から贈呈、昇神式辭(前田委員長)祝辭(大福株式店石田支配人、傷兵保険の如く二十五日午前十時から錦村の同氏邸内於)既報

官降神、玉串奉奠、目

志賀ナ力

内閣官房監修博士草野興

(5) 反の常用簡単服の洋

裁縫得

一經驗なく同化する氣

際保國體の精神を濃化する

の最北端で、國佳線の終點

ら銃剣術試合とかで可なり

こととはがへつて協力一致、に私どもは追分、長登崎を

進建設の過程に在る。

経て十二時四十分今次旅行

三江省二十五國長會議や

車両運送、修護(宮川神

士、安島元代議士、馬上

の如く昨二十五日午前十時

から錦村の同氏邸内於

宮城道邦、修護(宮川神

士、安島元代議士、馬上

の如く昨